

新規就農者の  
トマト栽培



下山 淳さん（船形第3）

なぜ、トマトで農業を  
始めましたか？

**稲** 作の農機メーカーと取引する仕事をしてますが、今後の仕事量が減っていくと思っています。

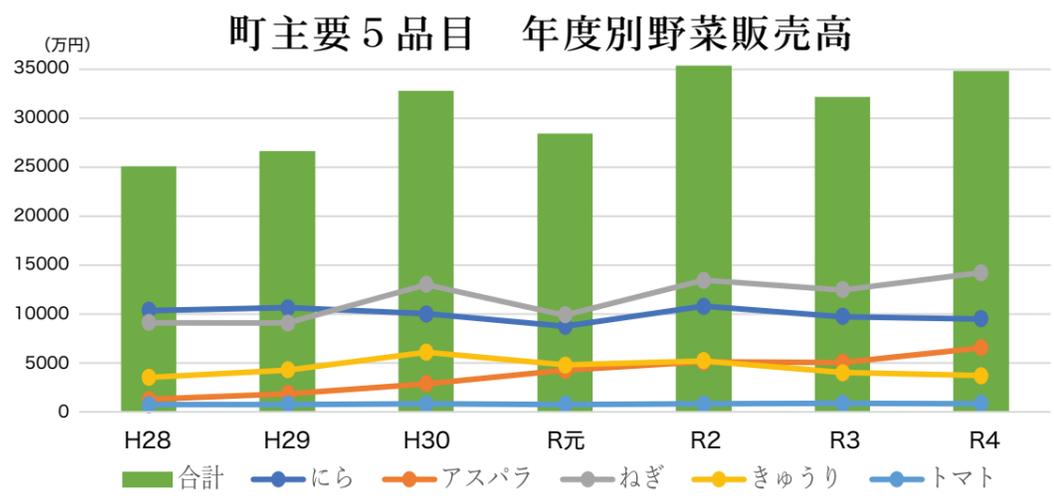
たまたまインスタグラムで大蔵村のメイズ農業を知り、楽しそうな様子が伝わってきて、「いいなあ、

やってみたい！」と思いました。早速、トマト栽培を行なっている伊藤貴之さん（大蔵村）のところへ行き、農業について話したのがきっかけです。

親族が農業を営んでいるので、視野を広げて他の作物も検討しましたが、最もひかれたのはトマトでした。

野菜の販売額が1.4倍に！

（平成28年度と令和4年度の比較）



上のグラフは、平成28年度から令和4年度までの南部営農センターに出荷された野菜主要5品目（にら、アスパラガス、ねぎ、きゅうり、トマト）の販売額推移です。

5品目の合計販売額は平成28年度は2億5,051万円、令和4年度は3億4,829万円です。6年でおよそ1.4倍となっています。

特に、ねぎについては令和4年度に1億4,229万円と過去最高額となり、営農センター単位の出荷で県内1位となりました。

主要5品目の出荷者数は、平成28年度が延べ89人で、令和4年度が99人と10人増えています。高齢化等により出荷を辞めた農家がいる中、新たな栽培者の増加や規模拡大により、販売額が伸びています。

新たに栽培を始めた人のほとんどは、会社等を退職後の就農で、アスパラガスやねぎに取組む人が多くなっています。

今年一年間を振り返って

最

もショックだったことは、選定した苗の台木が病気に耐性がなく、青枯れ病にかかってしまい、途中から一部収穫できなくなりました。来年は違う苗を使いたいと思っています。

また、収穫が始まると圃場の管理を間に合わせるが大変だったので、工夫したいです。

初めての栽培で不安はありましたが、思った以上に収量も取れ、今年は販売単価も高値だったので、まずまず良いスタートができました。

最も大事なことは、適期作業の徹底です。振り返ると、収穫が始まったからは家族の協力なしでは難しかったと思います。

これから就農を志す方へ

就

農に一番必要なのは「やる気」です。そして、気持ちだけでなく、自ら実際に行動することです。分からないことは恥ずかしくせずにすぐに聞き、実際に他の人のやり方を見に行くことです。

加えて、家族の協力と仲間が重要だと思います。いい仲間を見つけてがんばっていきましょう。



生育中のトマト

トマト作り 1年の作業体系

- 4月**
    - 月上旬 接ぎ木育苗
    - 中旬 ハウスビニール被覆
    - 下旬 施肥、耕うん
  - 5月**
    - 月上旬 定植、かん水設備準備、換気
    - 中旬 芽欠き、誘引※、マルチなど準備、換気
  - 6月下旬～10月上旬**
    - 収穫、芽欠き、かん水、換気  
(収穫はトマトの色づきを見ながら行います。)
  - 10月中旬～**
    - 収穫、換気、通路マット片付けなど
  - 11月中旬～**
    - ハウスビニール外し、後片付け
  - 12月**
    - 実績の検討、振り返り
- ※誘引とは、トマトの茎や枝を支柱などに固定して形を整えていく作業のことです。

新規就農者を応援します！  
町独自の補助事業

園芸拡大ステップアップ事業

町では、国と県の補助事業に乗せて補助ができる園芸拡大ステップアップ事業を実施しています。（単独でも実施可）

▼対象作物／  
ねぎ、にら、アスパラガス、きゅうり、トルコギキョウ、トマト、うるい、タラの芽、行者にんにくなど

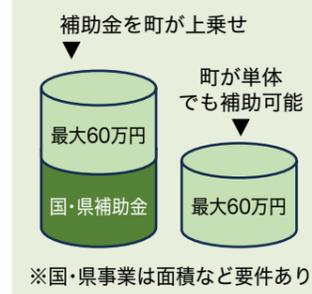
▼補助率／  
1／3～10／10（上限50万円）

35歳以下の新規就農者及び50歳以上65歳以下について優遇。

▼マイスター制度による優遇措置／  
補助金上限額の引き上げ（50万円→60万円）

※マイスター制度（指導者による研修）

【これまでの実績】  
H27～R4 延べ1119件  
補助金額合計 46,699千円



新規就農者への支援【国】  
経営開始資金・就農準備資金（就農時の年齢が49歳以下）  
▼対象者／認定新規就農者または研修期間中の研修生  
▼支援額／12.5万円/月（150万円/年）×最長3年  
▼補助率／10/10  
※前年の世帯所得が原則600万円以下の人が対象

町担当者からメッセージ  
舟形町は、水稲が中心の農業でしたが、園芸作物の栽培促進の事業成果もあり、近年は園芸農業も拡大してきました。

農家の人はもちろん、農家でなくても農地を借りて収入を上げています。少しの勇気と「絶対やる」という気持ちがあれば、どなたでも農業を始めることができる時代になりました。

舟形町では、色々な品目が栽培されています。自分に合った品目を選ぶことができます。人生100年時代と言われ、退職してもまだまだ時間はあります。就農に興味のある方は、ぜひ営農相談所（農業振興課内）にご相談ください。

▼問い合わせ／  
農業振興課農政企画係  
営農相談所  
☎（32）0947